

資料 1

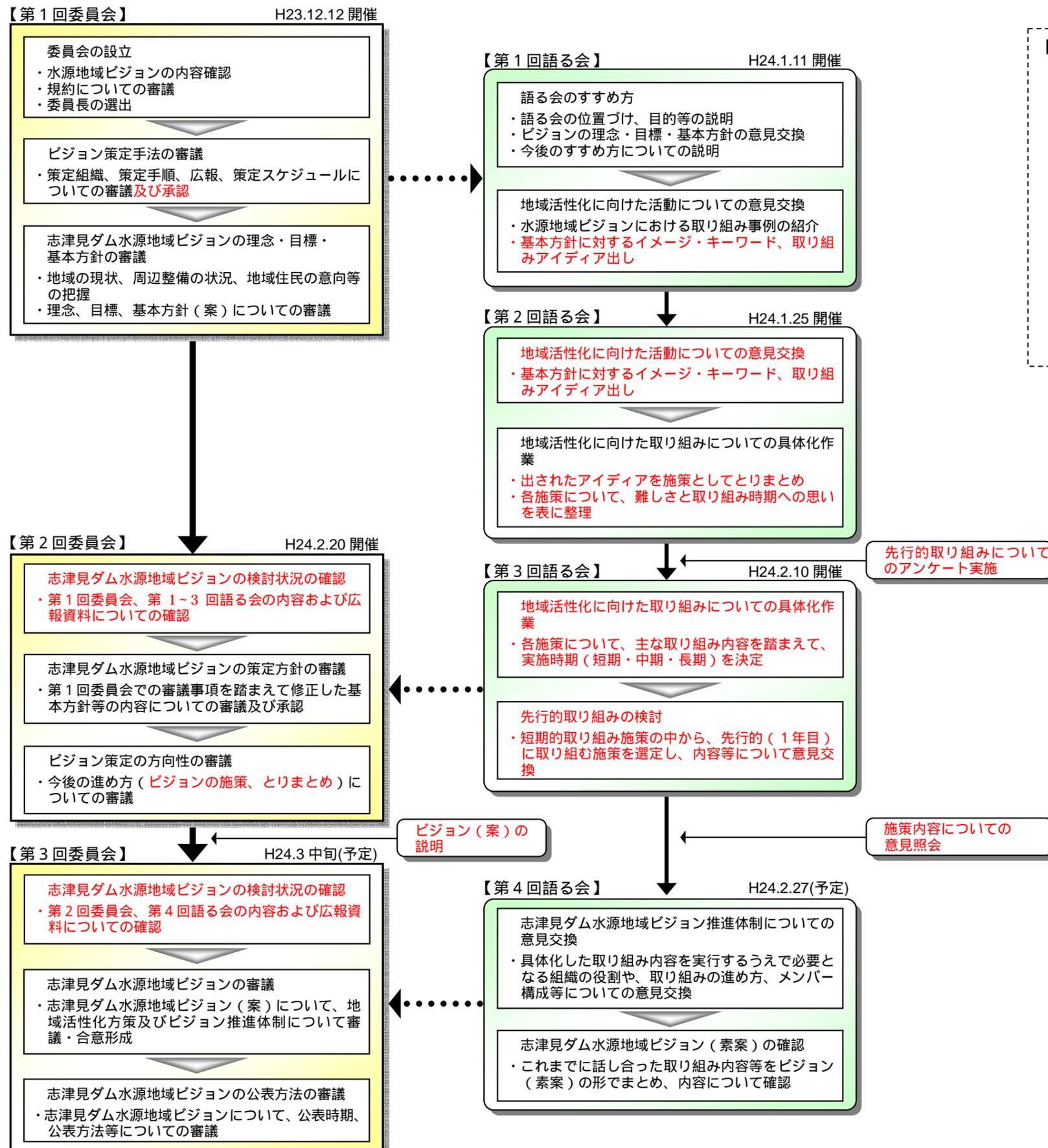
## 志津見ダム水源地域ビジョンの検討状況

- 1．志津見ダム水源地域ビジョン策定の流れ
- 2．第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会について
- 3．志津見ダムの活用を語る会の開催について
- 4．広報について
- 5．策定スケジュール

平成24年2月20日

志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

1. 志津見ダム水源地域ビジョン策定の流れ



**【第1回委員会からの主な変更点】**

- 第2回、第3回委員会の開催
  - ・志津見ダム水源地域ビジョンの検討状況の確認を追加
- 語る会開催回数の追加
  - ・第1回のご議論の内容を踏まえて、意見を取りまとめる方向性を検討した結果、開催回数を追加した方がより充実した議論が展開され、よりよい計画に結びつくと判断し、当初3回と予定していた開催回数を4回に変更

赤文字は、第1回委員会資料からの修正箇所を示す。

2. 第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会について

(1) 開催概要

開催日時：平成23年12月12日(月) 10:00～12:00

出席者：山碓英樹委員長、山下潔委員、天津芳郎委員、植田充弘委員、平山大輔

審議事項：・委員会の設立

- ・志津見ダム水源地ビジョンの策定手法について
- ・志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針について

(2) 第1回委員会での委員意見と対応内容

ビジョン策定手法について

-1 「水源地域ビジョンの概要」と「策定事例」

	主な意見	対応内容
1	水源地域ビジョンの対象となるダムは？	委員会で説明済み 策定要綱「第1目的」の記載内容を説明
2	水源地域ビジョンに盛り込む基本項目は？	委員会で説明済み 策定要綱「第5「水源地域ビジョン」の内容(2)」の記載内容を説明
3	水源地域ビジョンのフォローアップはどのような手法で行われるのか？	委員会で説明済み 推進組織に移行してから進めることを説明。
4	「志津見ダム湖周辺活用計画」をどの程度意識していくのか。	委員会で説明済み 活用計画に行動計画を付加したものを総合してビジョンとすることを説明
5	弥栄ダムが完成したとき、第1回ドラゴンボート大会が行われ、大変盛り上がっていた。最近どうなっているのか？	追加説明(H24.2.16) ドラゴンボートレースはH19まで「弥栄湖スポーツフェスティバル」の中で開催。参加者が固定されていたことからH20から「弥栄湖サマーピクニック」に変更。今年度はいずれも実施していない。 大竹市役所に確認

-2 志津見ダム水源地域ビジョンの策定手法について

	主な意見	対応内容
6	語る会の4地区の人口、年齢構成	委員会で説明済み H23.12.1時点の各地区の人口を説明
7	語る会は、基本的には各地区の皆様に参加してもらおうが、地場産業の話であれば商工会、漁業・農業関係者、子ども達の話であれば中学生、高校生、情報発信の話であれば報道関係者に参加してもらおうなど、今後の議論の方向性によって対象を広げていけば良い。	今後の議論の方向性により、適宜対応
8	下流域の方にダムに目を向けてもらうという意味合いで、下流域の方がダム所在地域へ期待することなどを機会を設けてアンケート等をとることはできないか？	委員会で説明済み 必要に応じて施策としてアンケート調査等を盛り込むこと検討することを説明。推進組織に移行した後に実施する位置づけであることも説明。
9	ビジョンの中に、下流域の皆様方の責任、参加を盛り込んでおきたい。	流域全体・下流域も念頭において、対応を検討中

志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針について

	主な意見	対応内容
10	基本方針(案)の「明るく元気なふるさとづくり」に「豊かな」という言葉を入れていただきたい。	対応済み(第1回委員会で修正) 「明るく元気で豊かなふるさとづくり」に修正
11	「みんなで」というのは、地域はもちろん、流域全体・下流域の皆様も入っていること事を念頭に置いていただきたい。	流域全体・下流域も念頭において、対応を検討中
12	基本方針「美しいふるさとづくり」で「歴史ある神戸川水源に広がる豊かな自然を守りつつ」とあるが、地域には風土記に書かれた志都美径もあるので、「文化」という言葉もあったほうがよいと思う。	対応済み(第2回語る会で修正) 「歴史・文化に彩られた神戸川水源に広がる豊かな自然を守りつつ」に修正
13	人が集まるふるさとづくりに「他地域の人々も含めた」とあるが、他地域という言葉をやわらかく言えないか？	対応済み(第1回語る会で修正) 「神戸川の水で結ばれた地域の人々や、志津見ダム周辺に訪れる人々」に修正
14	流域とは下流域を含めた全体ということを加味してほしい。	流域全体・下流域も念頭において、対応を検討中

水源地域に対する各委員の思い

	主な意見	対応内容
15	志津見ダムは地域に根ざして、地域はもちろん地域外の方からも愛され、親しまれるダム湖にならなければならない。志々地域の美しい八景づくり、八つの柱の神様、志都美径(出雲風土記)などのすばらしい歴史文化を地域のふる里づくり、みんなの、飯南町あるいは島根県のふる里づくりに資していけるようなビジョンにしたい	地域の歴史・文化を活かした施策を検討中
16	この地域に残ってもいいと子供が思える教育が不足している。	地域への愛着を醸成するような施策を検討中
17	この地域が将来的に残っていくというのが大前提である。高齢化の問題、後継者の問題もあるが、人がこの地域に集まっていたり方策が必要だと思っている。	集客が見込める施策を語る会で検討中
18	すでに 10 年 20 年続いて定着してきたイベントもあるため、今後も継続しながら交流事業にいかに取り組むか、他地区からいかに人を呼びこんできて賑わいをつくるかが大きな施策の一つになる。	現在実施しているイベントについても施策の一つとして検討中
19	常時ある程度の人に来てもらうためには他の観光地との連携が大切である。	他の観光地との位置関係等を念頭において施策を検討中
20	南北に国道 184 号、東西には主要地方道川本波多線が走っており、幹線が十字に結んでいる。 尾道松江道路が来年度末には完成し、交通の流れが変わる。例えば、三瓶山へ観光する場合には、今までは観光ルートではなかったものが、吉田掛合 IC を利用してこの地域が大きな観光ルートになる可能性もある。	地域の現状等を踏まえて施策を検討中
21	国道 54 号沿いの道の駅と連携して交流ができないか。	他の観光地との位置関係等を念頭において施策を検討中
22	非常に歴史がある地区であるため、歴史や文化を引き継いでいく、広めていくことができればと思っている	地域の歴史・文化を活かした施策を検討中

	主な意見	対応内容
23	孫の世代まで、ここに住みたい、暮らしたいと思える地域を作っていくために、語る会では若い世代の意見も聞きながら、いい思い出、いい体験ができる場を提供できるよう進めていきたい。	語る会では、幅広い世代の意見を聞きながら施策を検討中
24	ボランティアや NPO だけでは地域作りは難しいため、人と物が動いて何らかの収入が得られるような仕組みが必要である。	収益面も念頭において施策を検討中
25	水源地域ビジョンということで水源地域にスポットをあてているが、広域の視点も踏まえつつ他の施策等と連携するようなものを考えていかなければと思っている。	他の観光地との位置関係等や流域全体を念頭において施策を検討中
26	斐伊川神戸川の小学生が環境調査をして環境マップを作る取り組みをしており、流域全体での繋がりというのを進めていくことも我々河川事務所の務めだと思っている。	流域全体・下流域も念頭において施策を検討中
27	基本理念(案)に「地域に暮らす人々が自らの力で自らの幸せな将来のために」という表現があるが、流域の視点や交流の話があるので、自分たちだけでやるというマイナスのイメージが出てしまうと思う。	対応済み(第1回語る会で修正) 「地域に暮らす人々が自らの幸せな将来のために力をあわせて、流域全体と連携しながら」に修正
28	この地域の古くからの貴重な歴史、文化、人に誇りをもって若者が積極的に住んでいく地域づくりをする。	地域の歴史・文化を活かした施策を検討中
29	地に足のついた、足下をしっかりと踏みしめた地域づくりが必要である。	過大な期待や負荷をかけない施策を検討中
30	周辺の尾道松江道路をはじめとして、インフラ整備が進められ環境も変わっていくなかで、他施設、他事業と連携し流域全体を視点としながら、志々地区がいつまでも元気で、積極的に若者が住むような幸せな里づくりを進めていきたい	他の観光地との位置関係等や流域全体を念頭において施策を検討中

### 3. 志津見ダムの活用を語る会の開催について

#### (1) 開催概要

会議名	第1回 志津見ダムの活用を語る会
開催日時	平成24年1月11日(水) 19:00~21:00
出席者	地域住民、地域活動団体、関係行政機関、事務局 計25名
テーマ等	語る会のすすめ方 地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 テーマ:「みんなの考えを出し合おう！」
要旨	語る会のすすめ方 国土交通省の取り組み、志津見ダムにおける水源地域ビジョンの概要、語る会の位置づけや目的などを説明。 志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針について、委員会の意見にもとづく事務局修正案が示され、意見交換の後、語る会で承認。 語る会全体のすすめ方について説明。 地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 全国で実施されている水源地域ビジョンの地域活性化に向けた取り組み事例の紹介。 2班に分かれて、基本方針を実行するためには何をすれば良いか、イメージやキーワード、取り組みのアイデア、課題などについて話し合い、とりまとめ。

会議名	第2回 志津見ダムの活用を語る会
開催日時	平成24年1月25日(水) 19:00~21:00
出席者	地域住民、地域活動団体、関係行政機関、事務局 計22名
テーマ等	ビジョンの理念・目標・基本方針 地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 テーマ:「取り組み内容について話し合おう！」
要旨	ビジョンの理念・目標・基本方針 理念・目標・基本方針について、第1回委員会および第1回語る会での意見にもとづく事務局修正案が示され、意見交換の後、語る会で承認。 地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 2班に分かれて、基本方針を実行するためには何をすれば良いか、イメージやキーワード、取り組みのアイデア、課題などについて話し合い、施策としてとりまとめ。 続いて、とりまとめた施策を、実施する上での難しさ(工夫次第で何とかできそう、頑張ればなんとかなるかも、なかなか手強そう)と、実施時期への地域の思い(短期、中期、長期)で分類し、各施策の位置づけを表に整理。

会議名	第3回 志津見ダムの活用を語る会
開催日時	平成24年2月10日(金) 19:00~21:00
出席者	地域住民、地域活動団体、関係行政機関、事務局 計18名 傍聴: 作野広和島根大学准教授
テーマ等	地域活性化に向けた取り組みについての意見交換 テーマ:「取り組み内容について話し合おう！」
要旨	施策の具体的内容について これまでにとりまとめた各施策を、短期的取り組み施策、中期的取り組み施策、長期的取り組み施策の3つに分類。 各班で分類が異なる施策について、ひとつずつ施策の内容や取り組み時期の考え方等を確認しながら分類を決定。 おおむね事務局案の分類どおりとなったが、資料-3の中期的取り組み施策のうち「山の恵み学習会」、「民具の常設展示( )」を短期的取り組み施策に決定。 遺物と民具の展示は分けて考え「民具の常設展示」は短期的取り組み、「遺物の常設展示」は長期的取り組みとした。 先行施策(案)について 短期的取り組みに分類された施策の中から、先行的(一年目)に取り組むべき内容について意見交換。 それぞれの施策の中で出来ることから始めたいという意見のもと、短期的取り組みに分類されたほとんどの施策について、先行的に取り組みそうな内容を提案。 先行施策(案)について、アンケート集計結果および当日の意見交換をふまえ、「水辺で遊べる場づくり」と「シンボルオブジェ作り」は、先行的に取り組む施策としては見送り。 「河川と道路の清掃活動」と「クリーンウォーク」を「河川と道路の景観保全活動」として統合。 「イベントにあわせた展示」と「民具の常設展示」を「民具の展示(常設・イベント)」として統合。 「山の恵み学習会」、「イメージキャラクターの活用」、「マップ(パンフレット)づくり」は「地域懇親会の開催」の中で取り組み項目として話をしていく。 志津見ダム水源地域ビジョンの構成について 最終的にとりまとめる志津見ダム水源地域ビジョンの構成(目次案)について確認。

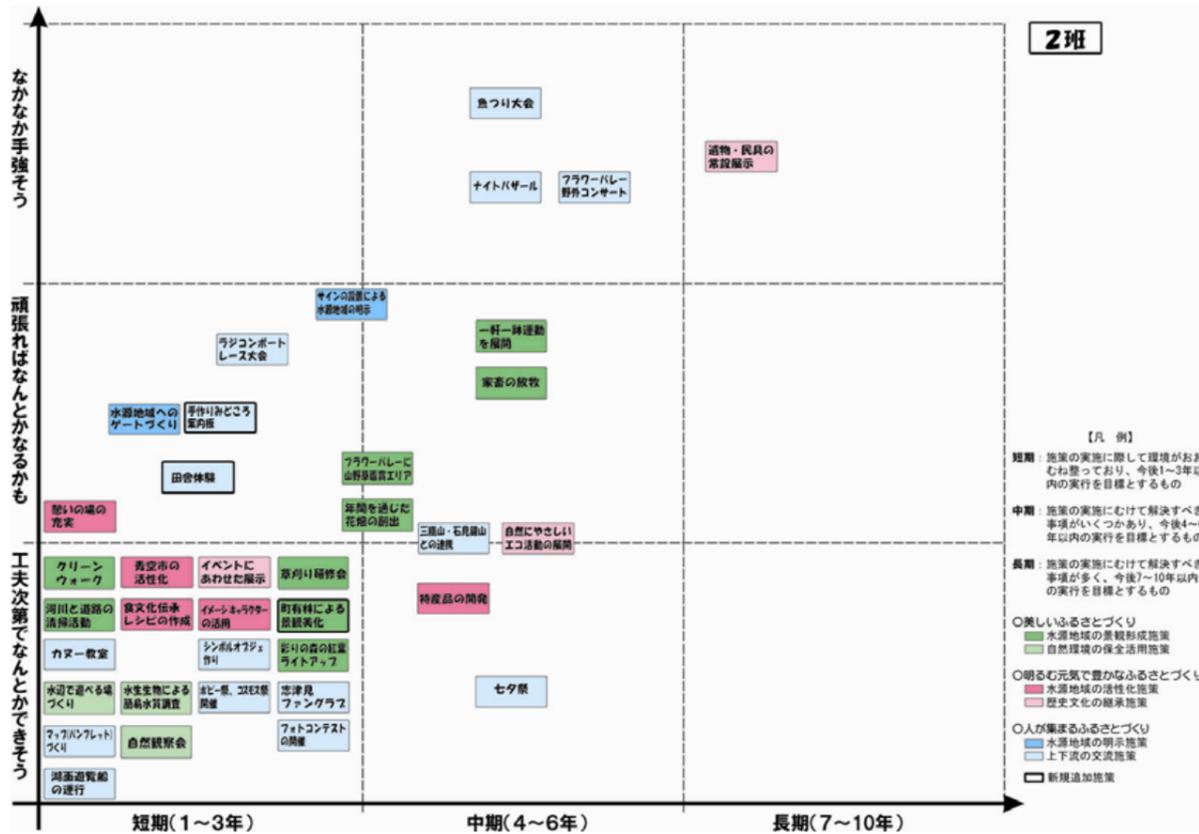
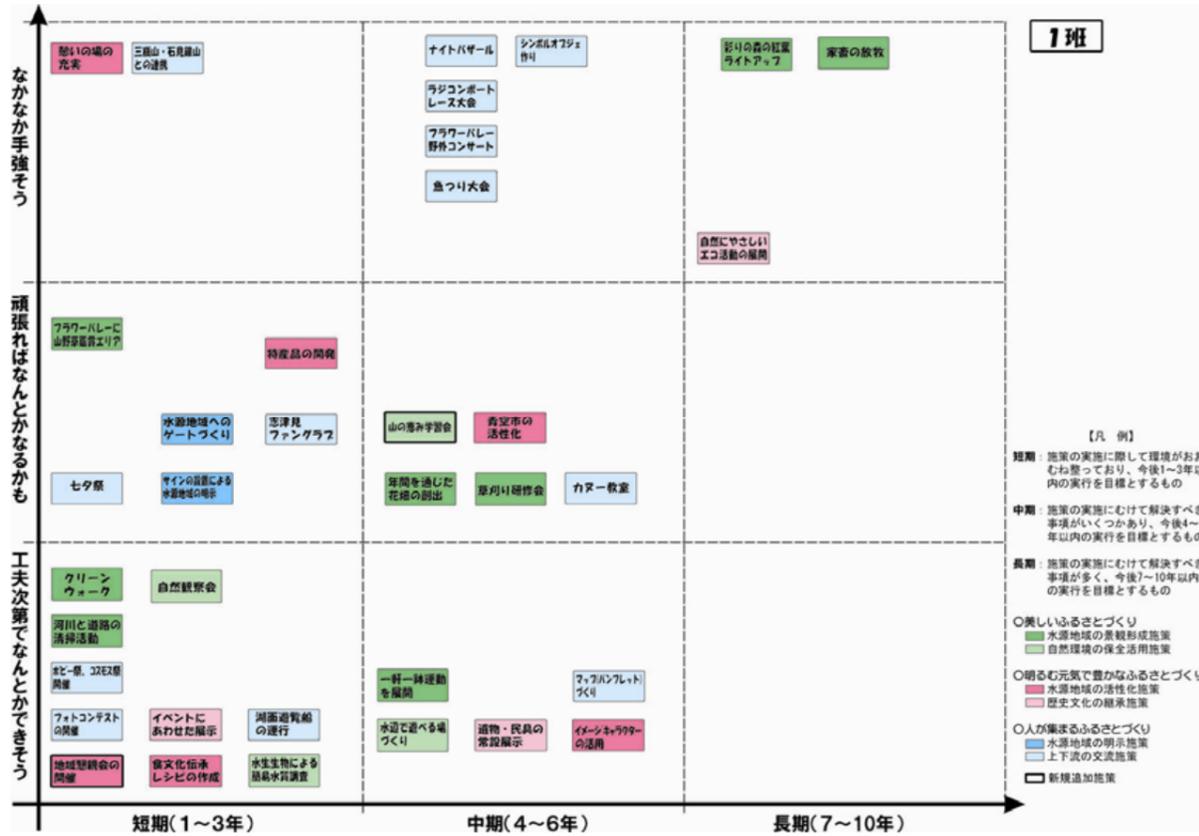
(2) 意見交換の結果

【第1回、第2回：基本方針におけるイメージ・キーワードと取り組みアイデアに対する施策の整理】

基本方針	施策テーマ	イメージ・キーワード	取り組みアイデア	施策の分類と取り組み施策	委員の意見	凡例
1：美しいふるさとづくり	・水源地域の景観形成施策	1)・環境 ・景観維持 ・清掃 ・河川をきれいに ・R184沿線景観	a. 国道184号、県道、町道の景観保全（立木を残しつつ除草管理） b. 上下流住民や団体の参加 c. フラワーバレーの除草 d. 不法投棄の抑制効果	分類：水源地域の景観向上 -1 河川と道路の清掃活動	<委員の意見> 地域はもちろん地域外の方からも愛され、親しまれるダム湖ビジョンの中に、下流域の責任・参加を盛り込む 歴史文化を地域のふるさとづくりに資する 「孫の代に集落が維持できる」地域づくり 郷土愛の育成につながる教育 この地域が将来的に残っていく、人がこの地域に集まる方策 「背伸びをしない、地域資源を活かした」地に足をつけた取り組み 定着してきたイベントの継続、交流事業の取り組み 常時ある程度の人にきてもらうためには他の観光地との連携が大切 国道184号、東西には川本波多線が十字に結んでいるのを利用 尾道松江道路完成により、この地域が大きな観光ルートになる可能性 国道54号沿いの道の駅と連携、交流 歴史や文化を引き継ぎ、広めていく 孫の世代まで、ここに住みたい、暮らしたいと思える地域を作っていく 人と物が動いて何らかの収入が得られるような仕組みが必要 広域の視点も踏まえつつ他の施策等と連携する	
		2)・景観、R184沿線景観 ・環境 ・景観維持 ・清掃	a. クリーンウォーク（町のウォーキング大会と兼ねる） b. 上下流住民や団体の参加	-2 クリーンウォーク		
		3)・景観、R184沿線景観 ・環境 ・景観維持	a. 町有林の活用	-3 町有林による景観美化		
		4)・環境 ・景観維持 ・清掃 ・河川をきれいに	a. 草刈り研修会（草刈り機械の展示販売、デモンストレーション） b. 上下流住民や団体の参加	-4 草刈り研修会（機械の展示販売、デモ）		
		5)・貯水池 ・牧場 ・景観の復活	a. 牛を放して草をなくす b. 河川環境整備 牛の放牧により除草 c. 羊、山羊の放牧 d. 堆肥の活用	分類：牧歌的な風景づくり -1 家畜の放牧		
		6)・自然 ・環境	a. フラワーバレー ポピーとコスモス以外の花の時期は？ b. フラワーバレー年間を通じた花畑	分類：四季の彩りフラワーバレー -1 夏の花の花壇整備による年間を通じた花畑の創出		
		7)・自然 ・環境 ・景観の復活	a. 山野草園 b. 山菜	-2 フラワーバレーに山野草鑑賞エリアを整備		
		8)・美しい山 ・景観の復活	a. 彩りの森 紅葉 ライトアップ b. ダム周辺の彩りの森 人工林からの転換	-3 彩りの森の紅葉をライトアップ		
		9)・自然 ・環境	a. 一軒一鉢運動	-4 一軒一鉢運動を展開		
	・自然環境の保全活用施策	1)・自然 ・環境 ・美しい水 ・ホタル	a. エコロジカル・ネットワーク	分類：神戸川エコロジカル・ネットワーク -1 水生生物による簡易水質調査の実施		
		2)・美しい水、空、山、星 ・自然 ・環境 ・ホタル	a. 志々小前で自然体験	-2 自然観察会		
		3)・自然 ・美しい山	a. 手の入っていない山を解放してもらう b. 山の手入れをしながら、山菜など採り方などを教わる	-3 山の恵み学習会		
		4)・かつての清流 ・美しい水	a. 水辺で遊べる場	-4 水辺で遊べる場づくり（既存施設の活用）		
		5)・自然 ・環境 ・かつての清流 ・美しい水	a. 志々小前でイカダ			
		6)・かつての清流 ・美しい水	a. 神戸川で泳げる川づくり			
	2：明るく元気で豊かなふるさとづくり	・水源地域の活性化施策	1)・野菜 ・米 ・酒 ・魅力づくり ・お金 ・お年寄りが楽しむ ・子供の遊び声	a. 青空市の活性化 b. フリーマーケット c. うぐいす茶屋を拠点に活性化 移動販売カー（生活雑貨、食品などを売り歩く）による商品の集荷など複合型の集荷・販売システム d. うぐいす茶屋に野菜をもって行き売る システムができていない e. 産直 うぐいす茶屋 f. ガルテン畑を利用して有機野菜を栽培し、展示園場にしながらうぐいす茶屋で販売 g. 神戸川水系での道の駅（川の道の駅） h. 少量多品種の商品展開		分類：神戸川「川の駅」づくり -1 青空市の活性化
			2)・魅力作り ・お年寄りが楽しむ ・子供の遊び声	a. うぐいす茶屋の側にすべり台、遊具 b. 古宮の名木周辺の公園化 c. 車で来て自由にキャンプできる場所の提供（水・トイレ・区画整理）		-2 憩いの場の充実
			3)・野菜 ・米 ・酒 ・魅力づくり ・お金	a. 自然農法 特産品 b. 自分たちが愛せる特産品 c. 菓草園（十五茶の生産） d. エコ米の生産		-3 特産品の開発
4)・酒 ・魅力作り ・お年寄りが楽しむ			a. みなで集まって話し合う場が欲しい b. 世代を超えて話をする場がなくなった c. お酒など飲みながらざっくばらんな話ができれば、いろんなアイデアがでる	分類：地域コミュニティの強化 -1 地域懇親会の開催		
5)・魅力作り ・お年寄りが楽しむ			a. 志津見ダムのイメージキャラクターとか b. 今あるキャラクターの活用	分類：志津見湖のイメージアップ -1 イメージキャラクターの活用		
6) -			a. 竹の粉碎チップの利用 b. 古木利用 c. イベント会場前小堰堤の落差を利用して水車を設置し小水力発電 d. ソーラーパネル e. 水力発電	分類：自然にやさしいエコ活動 -1 水源地域の自然にやさしいエコ活動の展開		
・地域の有する歴史文化の継承施策		1)・野菜 ・米 ・酒 ・魅力づくり ・お年寄りが楽しむ	a. (例)松江市/片江地区 尾原地区 料理を教えてもらっている b. “食文化伝承”レシピを作る	分類：伝えよう ふるさとの歴史と文化 -1 食文化伝承レシピの作成		
		2)・遺跡 ・土器	a. 遺跡の活用 b. 遺物展示施設の整備	-2 遺物・民具の常設展示		
		3)・民具 ・民具(農具)	a. 農具の展示	-3 イベントにあわせた展示		

基本方針	施策テーマ	イメージ・キーワード	取り組みアイデア	施策の分類と取り組み施策	委員の意見	凡 例
3：人が集まる ふるさと づくり	. 水源地域の ピーアール 施策	1) -	a. 貯水池に水を溜める b. 地元、訪れた人たちに水源地を意識してもらおう c. さつき会館周辺（上流部）への桜の植栽 d. 玄関口としてのイメージをつくる e. 志津見ダム水源地域を明示したい f. 志津見ダムのエリアに入ったのだ...という印象をアピールしたい	分類：水源地域の修景 -1 サインの設置による水源地域の明示 -2 草花、花木植栽による水源地域へのゲートづくり		<p>&lt;委員の意見&gt;</p> <p>地域はもちろん地域外の方からも愛され、親しまれるダム湖ビジョンの中に、下流域の責任・参加を盛り込む 歴史文化を地域のふる里づくりに資する 「孫の代に集落が維持できる」地域づくり 郷土愛の育成につながる教育 この地域が将来的に残っていく、人がこの地域に集まる方策 「背伸びをしない、地域資源を活かした」地に足をつけた取り組み 定着してきたイベントの継続、交流事業の取り組み 常時ある程度の人にきてもらうためには他の観光地との連携が大切 国道184号、東西には川本波多線が十字に結んでいるのを利用 尾道松江道路完成により、この地域が大きな観光ルートになる可能性 国道54号沿いの道の駅と連携、交流 歴史や文化を引き継ぎ、広めていく 孫の世代まで、ここに住みたい、暮らしたいと思える地域を作っていく 人と物が動いて何らかの収入が得られるような仕組みが必要 広域の視点も踏まえつつ他の施策等と連携する</p>
		. 上下流の 交流施策	1)・帰省 ・楽しむ（子供が集まる案）	a. 神戸川水系のイベント b. ポピー祭、コスモス祭 c. フラワーバレー野外コンサート d. 七夕祭り e. LEDライトアップ、夜間イベントとして出店も f. 志々ファンクラブ g. オロチのオブジェ、オロチの里作りなど地域のシンボルが欲しい h. 大国主命、須佐之男命など神戸川にちなんだ神話		
	2) -		a. 巡視船で楽しむ b. カヌー教室 c. 魚釣り大会 d. ダム湖面でのラジコンボートレース	分類：湖面イベントの開催 -1 湖面巡視体験 -2 カヌー教室 -3 魚釣り大会 -4 ラジコンボートレース大会		
	3)・名所		a. 手作りの看板を設置する b. 湧水エリアやパワースポットなどの紹介 c. 紅葉時期にクラインガルテンをアピール d. うぐいす茶屋前の霧と日の出の風景	分類：志々のみどころ紹介 -1 手作りみどころ案内板		
	4)・トイレがある駐車場 ・名所		a. 情報を出す(HP) b. 近場の小さなイベントも含めたパンフレット作り	-2 マップ(パンフレット)作り		
	5)・名所 ・夜空		a. フォトポイント、見所の紹介 b. フォトコンテスト	-3 フォトコンテストの開催		
	6) -		a. 除雪・除草体験+田舎の食事=田舎ツーリズム b. 農業体験 c. 体験宿泊(民泊) d. 伊丹市(姉妹都市)との小学生交流	分類：田舎ツーリズムの展開 -1 田舎体験		
	7)・大田市との連携 ・桜並木(大田市) ・石見銀山との連携 ・「三瓶山」の活用 ・温泉(昔出ていたらしい)		a. アウトレットモール b. 石見銀山を含めた観光コースづくり c. スキーに行くと温泉に入れる d. 企業の新人研修(三瓶山)	分類：他地区との連携 -1 三瓶山・石見銀山との連携検討		

【第2回：施策の位置づけ（難易度・実施時期）の整理】



【第3回：施策の実施時期（短期・中期・長期）の分類】

短期的取り組み施策	中期的取り組み施策	長期的取り組み施策
河川と道路の清掃活動	家畜の放牧	遺物の展示
クリーンウォーク	年間を通じた花畑の創出	フラワーバレー野外コンサート
町有林による景観美化	フラワーバレーに山野草鑑賞エリア	ナイトバザール
草刈り研修会	一軒一鉢運動を展開	魚釣り大会
彩りの森の紅葉をライトアップ	憩いの場の充実	
水生生物による簡易水質調査	特産品の開発	
自然観察会	自然にやさしいエコ活動の展開	
山の恵み学習会	サインの設置による水源地域の明示	
水辺で遊べる場づくり	水源地域へのゲートづくり	
青空市の活性化	七夕祭り	
食文化伝承レシピの作成	カヌー教室（一般対象）	
地域懇親会の開催	ラジコンボートレース大会	
イメージキャラクターの活用	手作りみどころ案内板	
民具の展示	田舎体験	
ポピー祭、コスモス祭開催	三瓶山・石見銀山との連携	
志々ファンクラブ		
シンボルオブジェ作り		
湖面巡視体験		
カヌー教室（PTA対象）		
マップ（パンフレット）づくり		
フォトコンテストの開催		

注）：1班と2班で同じ分類の施策

：1班と2班で分類の異なる施策 赤文字は第3回語る会での変更箇所

【第3回：1年目の実施施策の方向性】

1年目の実施施策の選定

基本方針	施策の分類および取り組み施策	アンケート結果	実施有無	新規既存	備考
1:美しいふるさとづくり	分類：水源地域の景観向上				
	-1 河川と道路の清掃活動	11		既存	
	-2 クリーンウォーク	9		既存	-1に統合
	-3 町有林による景観美化	5		既存	
	-4 草刈り研修会	6		新規	-1に統合
	分類：四季の彩りフラワーバレー				
	-3 彩りの森の紅葉をライトアップ	6		新規	
	分類：神戸川エコロジカル・ネットワーク				
	-1 水生生物による簡易水質調査の実施	7		既存	
	-2 自然観察会	9		新規	
-3 山の恵み学習会	-		新規	-1に統合	
-4 水辺で遊べる場づくり(既存施設の活用)	7	-	新規	2年目以降に実施	
2:明るく元気で豊かなふるさとづくり	分類：神戸川「川の駅」づくり				
	-1 青空市の活性化	9		既存	
	分類：地域コミュニティの強化				
	-1 地域懇親会の開催	8		新規	
	分類：志津見湖のイメージアップ				
	-1 イメージキャラクターの活用	5		既存	-1に統合
3:人が集まるふるさとづくり	分類：伝えよう ふるさとの歴史と文化				
	-1 食文化伝承レシピの作成	5		新規	
	-3 民具の展示	6		新規	
	分類：湖畔イベントの開催				
	-1 ポピー祭、コスモス祭開催	12		既存	
-5 志々ファンクラブ	3		新規		
-6 シンボルオブジェ作り	3	-	新規	2年目以降に実施	
3:人が集まるふるさとづくり	分類：湖面イベントの開催				
	-1 湖面巡視体験	4		新規	-1に統合
	-2 カヌー教室(PTA対象)	2		新規	-1に統合
	分類：志々のみどころ紹介				
	-2 マップ(パンフレット)づくり	7		既存	-1に統合
-3 フォトコンテストの開催	8		既存		

注) アンケート回答数: 13、 新規: 新たに取り組む施策 既存: すでに取り組んでいる施策を見直しながら継続

アンケート自由意見のまとめ

< ビジョン全般に関する意見 >  
 関係行政機関や地域が連携を図りながら、協働で実施することが重要。  
 施策はいくつかに絞って(例えば環境・景観を優先するなど)重点化し、そこから発展する方法がよい。  
 「いつやるか」「誰が中心となってやるか」「経費はどうするか」が課題。

< その他の主な意見 >  
 既存事業との兼ね合いに配慮が必要。  
 景観については、目につきやすいところから着手する。  
 青空市の活性化は、集荷範囲、方法などシステムを構築し、産品についてはこれまでの知識(農や林、食)の延長線で物事を考えるのがよい。  
 志々地区の名所旧跡等のマップや看板をつくることにより、地域理解の促進や地域を誇りに思う心の育成につながる。  
 飯南町、大田市(三瓶山、サヒメルなど)、川本町などとの連携が必要。 など

【第3回：志津見ダム水源地域ビジョンの構成】

志津見ダム水源地域ビジョンの目次(案)

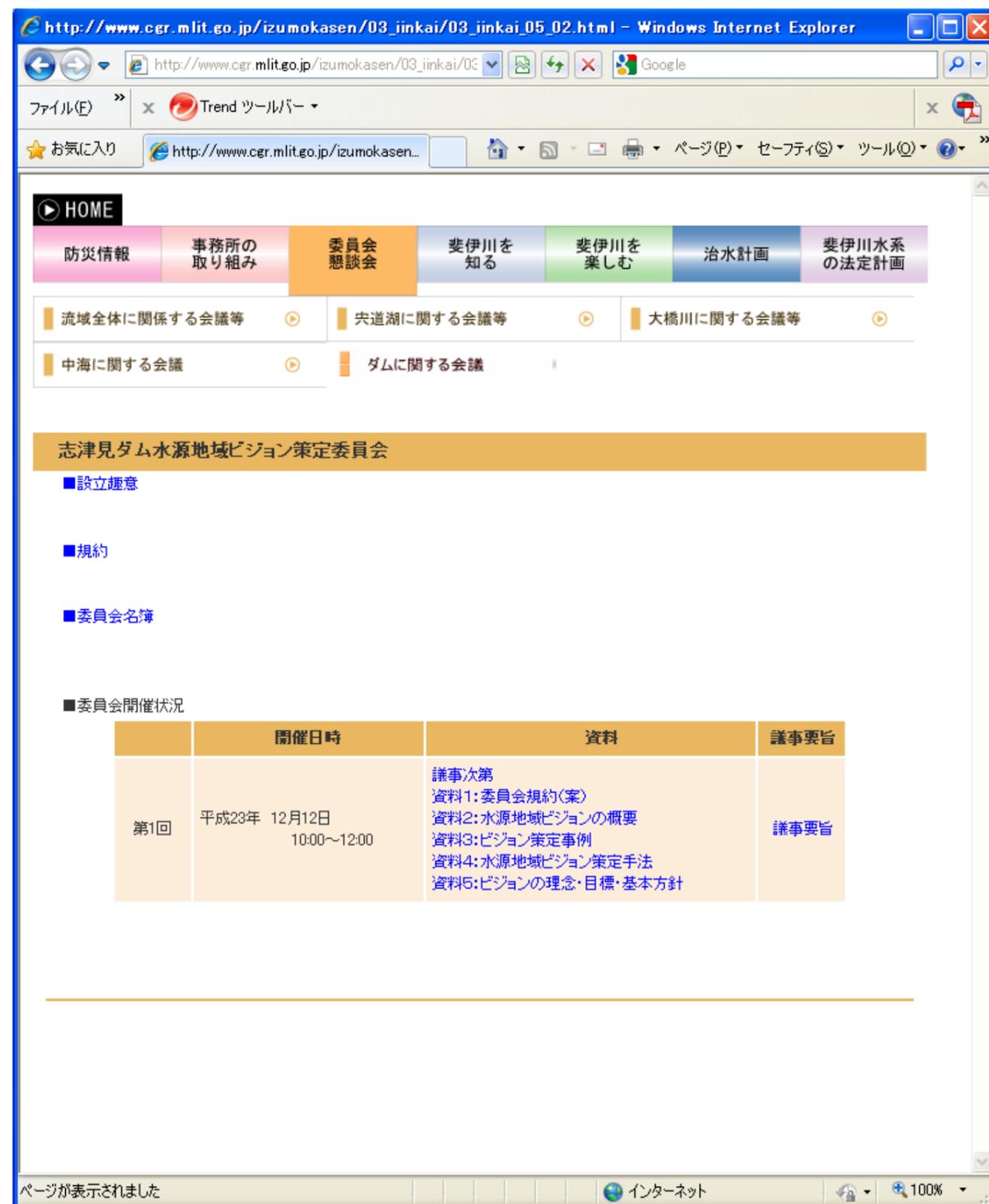
目次(案)

- ・ 水源地域ビジョン策定の背景
  1. 水源地域の概況
  2. 水源地域ビジョン作成の経緯
  3. 志津見ダム水源地域ビジョンの位置づけ
- ・ 志津見ダム水源地域ビジョン
  1. 基本理念・地域の目標像・基本方針
    - (1) 基本理念と地域の目標像
    - (2) 基本方針
  2. 取り組み施策
    - (1) 取り組み施策の体系
    - (2) 取り組み施策の内容
      - 美しいふるさとづくりに向けて
      - 明るく元気で豊かなふるさとづくりに向けて
      - 人が集まるふるさとづくりに向けて
  - (3) 先行施策
  3. 推進体制
    - (1) 推進方法
    - (2) 推進組織
- ・ 策定組織と策定経緯
  1. ビジョンの策定組織
  2. ビジョンの策定経緯

#### 4. 広報について

##### (1) ホームページによる広報

国土交通省出雲河川事務所ホームページ上での委員会資料の公開



(2) ダム便りによる広報

国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所発行の「志津見ダム便り」にビジョンについての記事を掲載し、ホームページで公開。

## 志津見ダム便り 国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所

2号 (12月14日版)

### 第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会を開催しました！！

・開催日 : 平成23年12月12日(月)  
・開催場所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)

※水源地域ビジョンとは、ダムを活かした水源地域の自立性、持続的な活性化のために、水源地域の自治体、住民等がダム事業者・管理者と共同で策定する水源地域活性化のための行動計画です。

志津見ダムは平成23年6月より、地域の安全・安心を守る施設として、本格的に運用を開始したところです。また、志津見ダムにおいては、ダム湖周辺を活かした様々な取組みも行われており、水源地域の活性化の点からも期待されています。この様な志津見ダムを水源地域のひとつの核として捉え、水源地域の自立性、持続的な活性化のための行動計画を策定するために、第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会を開催しました。

本委員会の委員長に飯南町長の山崎委員が就任され、今後、地域住民等で構成される「志津見ダムの活用を語る会」から意見・提案なども頂きながら、ビジョン策定に向け取組む予定です。

**委員会開催状況**



**出席者一覧**

役職名	姓 名	氏 名
策定委員	志津見ダム周辺活性化 総合整備推進委員会 会長	山崎 謙
	飯南町長	山崎 貴樹
幹事	島根県 土木部	天津 秀郎
	斐伊川神戸川対策課長	植田 秀弘
	島根県 雲南県土整備事務所長	植田 秀弘
	国土交通省 中国地方整備局	平山 大輔
	出雲河川事務所長	

～担当者からのひとこと～  
志津見ダム水源地域ビジョンが地域の活性化に繋がる計画となるように、関係者の皆様と取組んで参る所存ですのでよろしくお願い致します。会議資料などについては出雲河川事務所のホームページより公開する予定です。

(3) その他

ニュースレターの作成・配布

委員会及び語る会開催後に、取り組み内容を『志津見ダム水源地域ビジョンニュース』としてとりまとめ、これまでに vol.1～vol.4 を発行した。

配布先については、従前のダム関連広報誌の配布先に、上下流交流や国道54号との連携を考慮した配布先を加えて、広域的に広報した。

『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.1』

- ・発行：平成24年1月4日
- ・内容：ビジョンの策定について、第1回委員会の開催概要

『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.2』

- ・発行：平成24年1月24日
- ・内容：第1回語る会の開催概要

『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.3』

- ・発行：平成24年2月9日
- ・内容：第2回語る会の開催概要

『志津見ダム水源地域ビジョンニュース vol.4』

- ・発行：平成24年2月17日
- ・内容：第3回語る会の開催概要

【配布先】

- |   |  |
|---|--|
| 国土交通省出雲河川事務所<br>飯南町産業振興課<br>志々公民館<br>やまめの溪(クラブハウス)<br>島根県庁 斐伊川神戸川対策課<br>雲南県土整備事務所<br>は従前からダム関連広報誌の配布先 | 出雲市佐田支所<br>道の駅 とんぼら<br>道の駅 赤来高原<br>出雲県土整備事務所<br>出雲市建設企画課<br>国土交通省松江国道事務所<br>は連携拡大の観点から新たに追加した配布先 |
|---|--|

## 志津見ダム便り 国土交通省 出雲河川事務所 志津見ダム管理支所

3号 (1月16日版)

### 第1回“志津見ダムの活用を語る会”開催しました！！

・開催日 : 平成24年1月11日(水)  
・開催場所 : さつき会館(島根県飯石郡飯南町八神117-1)

※志津見ダムの活用を語る会は志津見ダム水源地域ビジョン策定に向け、地域住民などで構成された、地域活性化のための方策等について意見・提案を行う懇談会です。

第1回“志津見ダムの活用を語る会”を開催しました。今回は、参加者25名が“みんなの考えを出し合おう”というテーマで2班に分かれ、志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会で示された3つの基本方針(美しいふるさとづくり、明るく元気で豊かなふるさとづくり、人が集まるふるさとづくり)を実施するには何をすればよいかについてイメージやキーワード、実行のアイデアについて出しました。次回は今回頂いたアイデアについて実施の可能性を整理し、取り組み内容の具体化や順位付けについて意見交換する予定です。

**班別意見交換の状況です**



**班別発表を行いました。**



～担当者からのひとこと～  
出席者のみなさまにおかれましては、貴重なご意見をありがとうございました。頂いた意見をふまえて、よりよい志津見ダム水源地域ビジョンとなるよう努めますのでよろしくお願い致します。

# 志津見ダム水源地域ビジョンニュース

発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局  
飯南町産業振興課  
島根県  
国土交通省出雲河川事務所

## 『志津見ダム水源地域ビジョン』をつくります。

「志津見ダム湖周辺活用計画」（平成14年3月）の策定から10年が経過し、今年6月には志津見ダムが完成しました。この節目に、ダム周辺に整備された施設等を活用した地域づくりを進めるための行動計画である『志津見ダム水源地域ビジョン』を策定します。

水源地域ビジョンは、国土交通省と水資源開発公団のダムで策定することになっており、中国地方では、殿ダム（鳥取県鳥取市）、苦田ダム（岡山県鏡野町）、灰塚ダム（広島県三次市・庄原市）をはじめ、9箇所のダムですでに策定されています。

## 『水源地域ビジョン』ってなんだろう？

『水源地域ビジョン』とは、地域のみなさんと、水源地域の自治体、ダム管理者が力を合わせて、流域全体と連携しながら、ダム周辺の良いところを活かして地域を元気にしようという行動計画です。

### 計画の内容は？

- 地域を活かした計画です！  
ダム周辺地域の良いところを活かした様々な活性化の取り組みが計画されます。
- みんなが取り組む計画です！  
地域の誰もが参加し、協力できる取り組みについて話し合いながら、計画に盛り込んでいきます。

### 計画のつくりかたは？

- みんなでつくります！  
地域のみなさんと、水源地域の自治体、ダム管理者が共同して検討を進め、計画をつくっていきます。
- 計画をつくったあとは？  
● みんなですすめます！  
計画を推進していくための組織をつくり、地域のみなさんと協力しながら様々な取り組みを実施していきます。
- できることから始めます！  
できることから順次進めて、必要に応じて計画の追加や修正を行っていきます。



▲志津見ダム放水時の状況（H23.3.30）



## 『第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会』を開催しました。

平成23年12月12日（月）に、第1回志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会をさつき会館（飯南町八神）で開催しました。委員長には山崎委員（飯南町長）が選出され、ビジョンの策定方法やビジョンの基本理念、地域の目標像や基本方針などについて意見の交換を行いました。

第1回委員会では、

- 志津見ダム水源地域ビジョンは、「志津見ダム湖周辺活用計画」で整備された施設等を活用した地域づくりを進めるための行動計画とする。
- この地域の貴重な歴史、文化、人に誇りをもち若者が積極的に住んでいく地域づくりを念頭におく。
- 地域の目標像は、「みんなで作る みんなのふるさと 笑顔あふれる しあわせの里」とする。
- 基本方針は、「美しいふるさとづくり」「明るく元気で豊かなふるさとづくり」「人が集まるふるさとづくり」とする。
- 基本理念及び基本方針の内容については、「委員会」での意見と「志津見ダムの活用を語る会」での住民意見を反映させて策定する。

といった内容が確認されました。今後は、地域の意見・提案を聞く「志津見ダムの活用を語る会」を開催しながら、志津見ダム水源地域ビジョンを策定していきます。次回委員会では、基本理念、基本方針を具体化するための活性化施策について意見交換する予定です。



▲第1回委員会が開催されました



▲委員会での討議状況です

志津見ダムでの水源地域ビジョン策定についての取り組みをお知らせします。 平成24年 1月 vol.2

# 志津見ダム水源地域ビジョンニュース

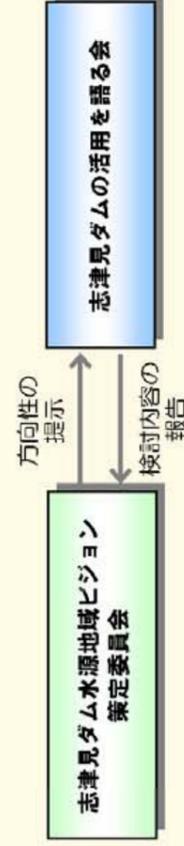
発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局  
飯南町産業振興課  
島根県  
国土交通省出雲河川事務所

## 『第1回 志津見ダムの活用を語る会』を開催しました！

### 『志津見ダムの活用を語る会』について

平成23年12月12日に設立した「志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会」で、地域の活性化方やビジョン推進体制に関する意見・提案を受けるための組織「志津見ダムの活用を語る会」を設置しました。

語る会のメンバーは、地域の皆さんや地域活動団体の方などを中心に構成されており、出席者が自由に発言・意見交換できるように、ワークショップ（WS）形式で地域の活性化方策などを議論します。



■『志津見ダムの活用を語る会』の構成メンバー

区分	所 属 等
地域住民	志津見地区
	角井地区
	八神地区
	獅子地区
地域活動団体	志々公民館
	志津見ダム対策同盟会
	志津見振興総合
	志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会
関係行政機関	地域おこし協力隊 飯南町・島根県・国土交通省

注）構成メンバーは、必要に応じて柔軟に選定することとしています。

### 『第1回 志津見ダムの活用を語る会』を開催しました。

『みんなの考えを出し合おう！』をテーマに、「第1回 志津見ダムの活用を語る会」を開催しました。当日の語る会には25名の方に参加いただき、2班に分かれて意見交換を行いました。地域の抱える課題や志津見ダム水源地域ビジョンの理念・目標・基本方針を具体化させるための地域活性化のアイデアなどについて熱心に議論され、最後に各班の意見を全体で発表して第1回の語る会を終えました。

#### ●第1回 志津見ダムの活用を語る会

日時：平成24年1月11日（水） 19時00分～21時00分

場所：さつき会館

語る会では出された主な意見：

- ・環境、景観が昔よりよくない
- ・地元の人たちが地元の施設や資源を活用しきれていない
- ・志津見ダムのエリアに入ったのだという印象をアピールしたい
- ・フラワーバレーで年間を通じた花畑をつくってはどうか
- ・彩りの森の紅葉をライトアップさせてはどうか
- ・景観維持や河川をきれいにするための清掃を行うのはどうか
- ・町のウォーキング大会と兼ねたクリーンウォークの実施はどうか
- ・志々小学校前で、イカダなどの自然体験ができるようにするのはどうか
- ・青空市を開き、野菜を売るなど、うぐいす茶屋を拠点に活性化させたい
- ・“食文化伝承” レシピをつくってはどうか
- ・志津見ダムのイメージキャラクターがつかれないか
- ・近場の小さなイベントも含めたパンフレットをつくるのはどうか
- ・フォトポイントや見所を紹介してはどうか
- ・巡視船でダム湖からの眺めや遊覧を楽しむことはできないか など

次回語る会は、平成24年1月25日（水）に開催し、追加のアイデアについて議論した後、いただいたアイデアの実施可能性を整理し、実施する際の優先順位などを議論する予定です。

<語る会の位置づけ・目的などの説明>



<WS形式でのおすすめ方の説明>



<意見交換・アイデア出しの状況>



<各班のリーダーによる全体発表>



# 志津見ダム水源地域ビジョンニュース

発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局  
 飯南町産業振興課  
 島根県  
 国土交通省出雲河川事務所

## 『第2回 志津見ダムの活用を語る会』を開催しました！

平成24年1月25日（水）に「第2回 志津見ダムの活用を語る会」を開催しました。第1回で取り組みアイデアを出し合いましたが、もう一度アイデアについて話し合いという要望があり、『取り組み内容について話し合おう！』というテーマのもと、アイデア出しや取り組み内容について意見交換を行いました。当日は22名の方に参加いただきました。

第2回語る会では、2班に分かれて地域活性化のアイデアなどについて活発な議論を行い、その後、アイデアを施策としてとりまとめ、難しさや実施時期などについて意見交換を行いながら整理しました。

<語る会の進め方などの説明> <アイデア出し・意見交換の状況>



### ●第2回 志津見ダムの活用を語る会

日時：平成24年1月25日（水） 19時00分～21時30分

場所：さつき会館

語る会に出された主な意見：

- ・ 上下流の住民や団体に声をかけて、一緒に除草や清掃活動をおこなう
- ・ 地域をきれいにする事で、不法投棄の抑制につながる
- ・ 所有者に山を開放してもらい、山の手入れを手伝いながら、山菜などの知識を教わりたい
- ・ 川にもう少し浅瀬を作って、簡単に水遊びができる場所がほしい
- ・ 青空市などでは少量多品種の商品望ましいが、農家の協力が必要
- ・ 地域の人々が自由に意見交換する場所や機会がない
- ・ 石見銀山・三瓶山を含めた観光コースづくりなど連携を考える
- ・ H24.3.24の吉田・掛合IC開通を地域活性化のチャンスにとらえる

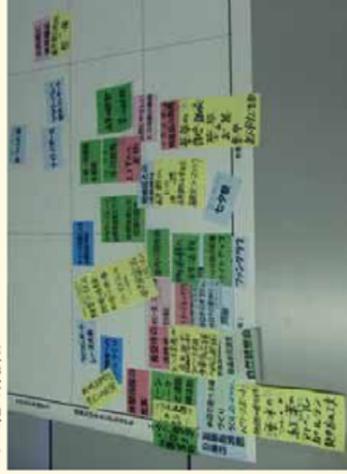
施策の位置づけでの意見交換：

施策を『工夫次第で何とかなりそう』『頑張ればなんとかなるかも』『なかなか手強そう』に分類した上で、いつまでに実施したいかみなさんの思いを『短期（1～3年）』『中期（4～6年）』『長期（7～10年）』の3区分に分けました。

<1班の成果>



<2班の成果>



次回語る会は、平成24年2月10日（金）に開催し、整理した施策の中から、先行的（1年目）に取り組む施策を選定し、その具体的内容について意見交換を行う予定です。

### ■『志津見ダムの活用を語る会』の参加メンバー

区分	所属等
地域住民	志津見地区
	角井地区
	八神地区
	獅子地区
地域活動団体	志々公民館
	志津見ダム対策同盟会
	志津見振興組合
	志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会
関係行政機関	地域おこし協力隊 飯南町・島根県・国土交通省



など

志津見ダムでの水源地域ビジョン策定についての取り組みをお知らせします。 平成24年 2月

Vol.4

# 志津見ダム水源地域ビジョンニュース

発行 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会事務局

飯南町産業振興課  
島根県  
国土交通省出雲河川事務所

## 『第3回 志津見ダムの活用を語る会』を開催しました！

平成24年2月10日（金）に「第3回 志津見ダムの活用を語る会」を開催しました。『取り組み内容について話し合おう！』というテーマのもと、アイデア出しや取り組み内容について意見交換を行いました。当日は18名の方に参加いただきました。

第3回語る会では、これまでにとりまとめた各施策を、短期的取り組み施策、中期的取り組み施策、長期的取り組み施策の3つに分類するため、ひとつずつ施策の内容や取り組み時期の考え方を確認しながら分類を決定しました。そして、短期的取り組みに分類された施策の中から、先行的（一年目）に取り組みべき施策の抽出と内容について意見交換しました。

今後の予定は、平成24年2月20日（月）に「第2回 志津見ダム水源地域ビジョン策定委員会」を開催する予定で、第3回語る会で討議した抽出施策、短期・中期・長期の分類、1年目を実施する施策などについて審議いただくこととしています。また、次回語る会は、平成24年2月27日（月）に開催予定で、ビジョンの推進体制についての意見交換と、志津見ダム水源地域ビジョン（素案）の内容確認を行う予定です。

### ■『志津見ダムの活用を語る会』の参加メンバー

区分	所属等
地域住民	志津見地区
	角井地区
	八神地区
	獅子地区
地域活動団体	志々公民館
	志津見ダム対策同盟会
関係行政機関	志津見振興組合
	志津見ダム周辺活性化総合整備推進委員会
	地域おこし協力隊
	飯南町・島根県・国土交通省

●語る会会場



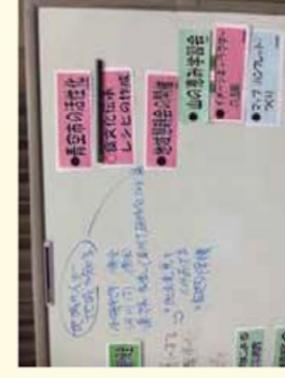
●今日の進め方について説明がありました。



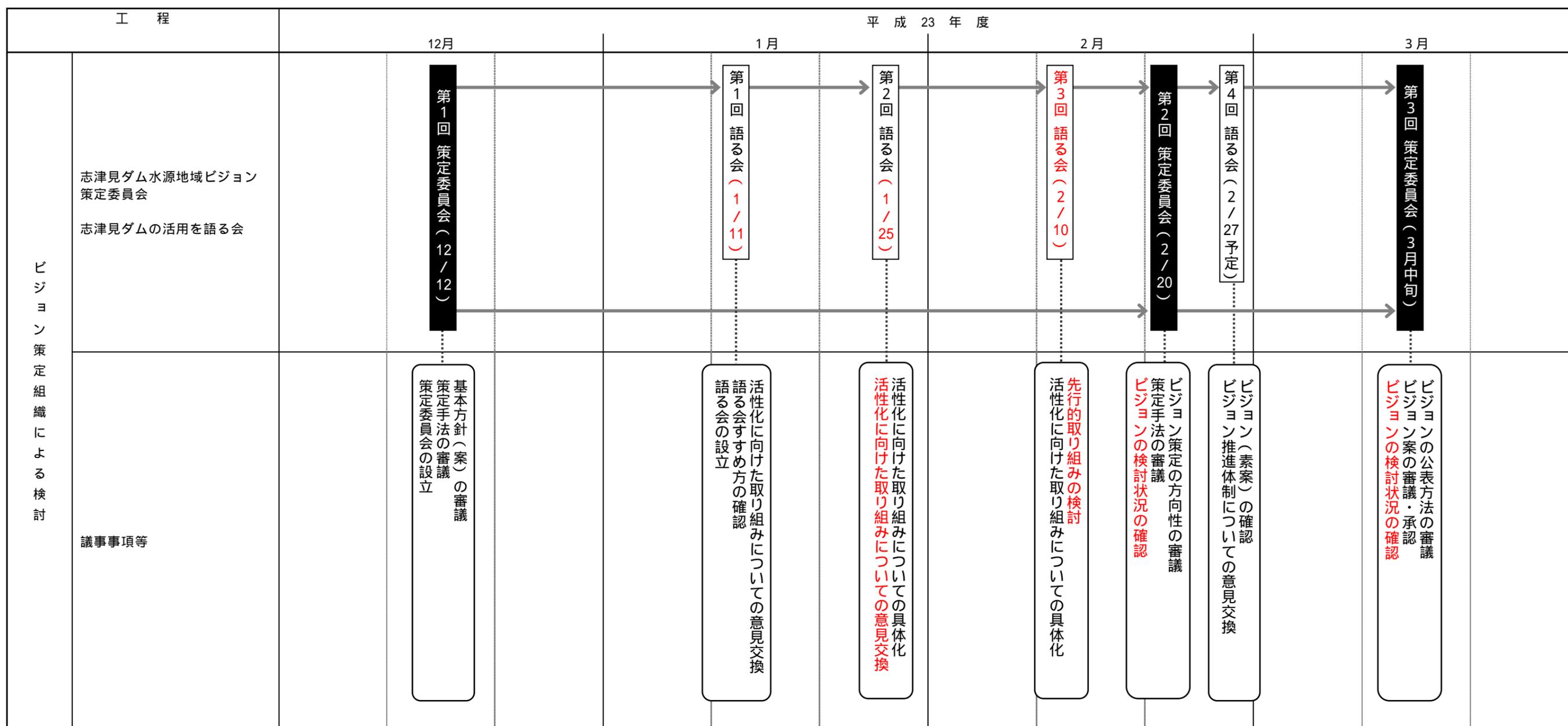
●取り組み時期について意見交換しました。



●先行施策の取り組み内容について意見交換しました。



5. 策定スケジュール



注) 赤文字は、第1回委員会資料から変更した箇所を示す。